

歴史上において未だかつてなく情報が溢れている我々の社会。この現代において、ついには情報さえも味わえなければ受け入れがたいものになってきた。情報がない時代、個人事業においての必勝法や成功法則が開かされていない時代は出版する、ブログを書く、メルマガを発行する、いわゆるダイレクトマーケティングで見込み客を集めて希少性の高い情報を出し続けることでいわゆる勝ち組になれた。それだけで人が集まった。

しかし、現在。時代は変わった。コンサルタントを名乗る人の数は圧倒的に増え、今までのビジネスの必勝パターンは知られざるものではなくて、もはや知っていて当たり前の情報になった。カウンセラー・ヒーラーの数も膨大に増え、どうしたらより幸福に過ごせるか？を専門的な心理学者だけでなく主婦でも知っているようになった。メンタルコーチングももはや怪しげな洗脳トリックではなく、ベストパフォーマンスを出すためのスキルとして多くの人々が認識しているし、その方法さえもグーグル検索するだけで見つけられる。

つまり、情報メディアが進化し過ぎたために、多くの人々が「何をしたらどんな結果が得られるのか？」をこれまでの時代では考えられないほど格安で、もしくは無料で、知識上ではわかるようになってしまったのだ。

人間、大事だとわかっているけど、希少性を感じないとありがたみが薄れるものである。酸素なんかがいい例だが、人体には超大事なのに「うわー、今日も酸素吸えて感謝だわ」なんて人を聞いたことがない。社会人になる前に何不自由なく実家で育った若者が「今日もお母さんの手料理が食べられて幸せ！いつもありがとう！」なんて感謝することはほとんどない。

それとほぼ同じ理屈で、情報自体にもはやそれほど価値がなくなってきてしまった。自分がセミナーに参加して得た希少性の高いと思われる情報は、その主催者が開催するたびに知っている人が続々と増えるため、必然的に情報的な希少性は下落する。またそのセミナーの受講者が学んだ内容を模倣して、似たようなセミナーを開催すれば、さらに情報の希少性は下落する。

この連鎖を繰り返し、何年か前なら大絶賛されていた情報はもはやみんなが知っている情報へとなり下がってしまうのだ。なり下がってしまうと先ほど述べた通り、ありがたみが薄れ、実践してみようという意欲が薄れていく。

では何か新しい方法を自力で見つけなくてはいけないのか？という、これは正直難しい。新しい方法というのは、常に最前線にて発見されるものであり、これからブログ・メルマガを書こうという素人が見つけるのは不可能に近い。

ではどうしたらいいのか？似たような情報では希少性を感じてもらえないし、新しい方法も見つけるのが難しいなら、何を書いたらいいのだろうか？

そこで初めて役立つのが「キャラクター」だ。キャラは情報に付加価値を与える。単なる必勝法ではなく「〇〇さんが教えてくれる〇〇流の必勝法」となるので際立つ。「〇〇さんの説明だからわかりやすい」「〇〇さんの書き方が好き」「〇〇さんの講座だから行く」となるため、もはや情報ではなくキャラで選ばれるようになる。

こうなると強い。キャラとは即ち生き様。だから、簡単にマネされない。同じ情報を誰もが伝えることはできるが、自分と同じキャラで誰もが際立つとは限らない。むしろ、マネしたところで生き様もポリシーも違えば、違和感だらけで自爆するのが目に見えている。だから、情報の希少性は下がりやすいが、キャラの希少性はなかなか下がらない。

例えて言うなら、情報だけでも価値があった時代とは、ただの味噌でもありがたがるモノのない時代のようなもの。素材だけでもあるだけで嬉しい時代だ。しかし、現在、時代は変わった。どこに行っても味噌はもらえる。素材はもらえる。当たり前のようにもらえてしまうから、それをありがたがることはなく「ああ、味噌だね」と味わおうともせず、閉まってしまう人がほとんどだ。

そこで、キャラという「出汁」の出番。そこでもらえるのは、ただの味噌じゃない。出汁がついているから、味わい深い。自分で味噌を味わう努力をしなくても、出汁で溶かされているから自然と味噌を味わえる。

つまり、キャラを出せば、相手が自分で情報を味わう努力をしなくても、相手はそのキャラを楽しんでいるうちに自然とその情報を味わってしまう、ということ。どちらが今の時代に向いているのかは、先ほどの話を聞いていれば明快だろう。

これ。これが本当のキャラのチカラ。ただ面白そうだからではなく、ただ楽しそうだからではなく、今の時代において表現することは必然なのである。

では、どうやってブログやメルマガで、自分のキャラを出せばいいか？これはこうしたら出せるよと汎用化できるほど単純ではない。ただ語尾を変えたり、勢いをつけたりするだけでキャラは出ない。

文章でキャラを出すのに必要なのは、ニュアンスの言語化と世界観の統一。それができて初めて言葉からキャラがにじみ出るのだ。確立できると、まるで昆布のようにジワジワと文章

からキャラがにじみ出ていく。

もちろんこれを読んだだけで、キャラの出し方がわかる人は稀だろう。でも安心してほしい。そのために用意したのが「キャラだしセッション」。あなたが自分のキャラクターで文章表現できるよう、これまで数々の個人事業主の隠れたキャラクターを発見してきた岡田がじっくりコトコト煮出して…、もとい見出していく。

自分だったらどんな表現が合っているのか知りたい！もっと楽に表現していきたい！と思ったら、ぜひ一人で悩まずにご相談を。

あなたの前に、その道のプロがいるのだから。

岡田鉄平より

限定111名まで特別価格
キャラだしセッションを受講する